

予算特集号

発行者：後援会会長 加藤進一 / 後援会事務所：稲沢市平野町2-8 Tel. 32-7199

ののべ尚昭経過報告

- 1月7日 稲西校区歩け歩け大会
消防出初め式
- 10日 市民クラブ予算要求→市長へ
- 15日 成人式
土光杯全日本弁論大会OB会(サンケイ会館)
- 16日 個人視察
(山梨県都留市: リニア行政、広報活動)
都留市民グループ・
つみかごの会にゲスト出席
- 17日 予算説明会
- 22日 新人議員研修会
- 24日 行政視察(国保協議会)
↓
滋賀県彦根市
- 25日
- 29日 市政調査(市民クラブ)
↓
鹿児島県指宿市・国分市
- 31日

- 2月9日 水道全員協議会
- 21日 委員協議会(厚生委員会)
- 23日 下水道対策特別委員会
- 26日 議員総会・議員研修会
- 28日 稲沢地区区長会

- 3月1日 大鏡餅出迎え
- 2日 裸祭り
- 4日 3月定例議会(開会)
↓
- 21日 閉会
- 7日 稲西中卒業式
- 8日 稲西小教育後援会評議員会
稲西小地区体育振興会理事会
- 15日 愛知文教女子短大卒業式
- 17日 平野町総会
- 18日 稲西中後援会報告会
- 19日 稲西小卒業式
- 26日 水道議会
- 29日 五郷地区区長会

会員の皆様

早春の日々

いかがお過ごしですか



平成8年は「住専」問題やHIV訴訟など、国民の怒りで始まったように感じます。同時に、今まで以上に行政や政治の無責任体制が浮きぼりにされております。特に、「住専」問題は国民の大切な税金(6850億円)を使って解決しようと国会では審議されています。非常に残念なことです。物事の責任を明確にしないまま政治や行政は進んでしまいます。

では、実際どうしたらこのような状態を打破することができるのでしょうか。私は2つ必要な点があると思います。1つは行政を厳しくチェックする市民の目、もう1つは行政をチェックしなければならない政治家、つまり、行政に対してきちんと物が言えるような政治家を選ぶ市民の目を養うことです。

私は市議会議員になり半年が過ぎました。今でも行政に対して色々な疑問を抱いています。その疑問を市長や行政職員にストレートにぶつけて議論をしていきたいと思っております。議員の「議」は議論の「議」であります。市民のために役に立つ施策か、そうでない施策かを客観的に判断できる目を私も養っていく所存でございます。桜の花のように、皆様の生活も明るくなることをお祈り致しまして早春の挨拶と致します。

市議会議員 野々部 尚昭

— 3月定例議会 —

3月4日に開会し、18日間の会期で新年度一般会計当初予算案など27議案を原案通り可決しました。

尚、平成8年度稲沢市一般会計当初予算の歳入歳出総額は249億5,500万円、特別会計は137億8,508万4千円、企業会計は82億4,945万8千円の、総額469億8,954万2千円でスタートすることになりました。

また、一般質問を行なった議員は13名でした。(後にののべ尚昭議員の一般質問の詳細を報告)

【条例改正】

- ◎ 稲沢市報酬額及び費用弁償に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市災害対策本部条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市児童厚生施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市公共下水道整備基金条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市少年愛護センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正しました。

【意見書】

- ◎ 住宅金融専門会社の不良債権処理に関する意見書を可決しました。
- ◎ 地方分権の実現を求める意見書を可決しました。
- ◎ 学校週5日制の完全実施に対応する学習指導要領の改訂等についての意見書を可決しました。
- ◎ 「食糧・農業・農村に関する新たな基本法」の制定を求める意見書を可決しました。

【同意】

- ◎ 渡辺健治氏が平成8年3月31日任期満了のため、公平委員会委員に同氏を再任することに同意しました。
- ◎ 田中勝見氏及び服部哲夫氏が平成8年4月30日に任期満了のため、固定資産評価審査委員会委員に小澤貴志雄氏及び星野文雄氏を選任することに同意しました。

【決定】

- ◎ 選挙管理委員会委員及び補充員を下記のとおり決定しました。

委員	鵜野 春義氏 (大塚)
	川口 勝春氏 (井之口)
	近藤 等氏 (井堀)
	角田 博氏 (清水町)
補充員	藤田 嘉美氏 (駅前)
	太田 保氏 (奥田)
	奥田 ひろみ氏 (福島町)
	加藤 昴氏 (船橋町)

※順不同

《 議会を傍聴して！ 》

3月8日(金)、ののべ尚昭議員の一般質問の時間(9:30~10:30)に後援会の皆さんが17名、その他の時間に3名、合計20名の方が傍聴にみえました。

これは前回と同様に、ののべ尚昭議員に期待する表れではないかと感じます。そこで、今回も実際傍聴された方々の声をお届けしたいと思います。

- 先日、稲沢市の議会を傍聴しました。議会を傍聴した中で、一番印象的だったのは、議会に出席していた議員や市職員の個々の議会に取り組んでいる姿勢の違いです。

あらかじめ用意して来た紙を読んで済ませる議員や市職員が多い中、自分の経験をふまえながら、一つ一つ丁寧に答えていた人の説明は、難しい話でもよく理解することができましたし好感がもてました。その一方で、議員の中のごく一部に睡眠、私語、野次などマナー違反的な言動があったのが残念です。このようなことは聞いただけでは分からないので、やはり傍聴に行くと良かったと思いました。また、見ている人が必要だとも思いました。常日頃ののべ尚昭議員が「議会のオープン化」をしなければ良い政治は生まれないとやっている意味が分かりました。

稲沢市の隣、一宮市では近く市議会がケーブルTVで中継される予定です。放映された議会は、今まで見に行けなかった多くの人の目に触れるでしょう。良くも悪くも注目が集まれば、議会はもっと活発な意見が出されていく所だと思います。

稲沢でも、早期に市議会を公開してほしいと思います。ののべ議員、「議会のオープン化」私も応援しています。

川崎美紀

- 生まれて始めて議会を傍聴しました。50代、60代の議員が多い中、ののべ尚昭議員の若さがひとときわ光ってみえました。前回と連続で一般質問を行ったそうですが、私の目にはしっかりとした声で質問し、堂々としていて立派に見えました。内容も斬新なアイデアで私たちのような若い世代の意見を反映しており、非常に納得のいくものでした。

特に、政治教育でまだ選挙権を持っていない子どもたちのことを真剣に考えている姿は若いののべ尚昭議員にしか出来ないことだと思いました。しかし、市職員側との世代間のギャップも見うけられました。このギャップをうめるために、私ものべ尚昭議員を今まで以上にもり立てていこうと思います。また、女性議員が1人しかいないというのも寂しい気がしました。

やはり、これからの政治は世代交代と女性議員の進出が必要ですね。

松浦里美

- 私はののべ尚昭議員とは親友という間柄もあって、始めて議会の傍聴をしました。正直言って大変だなあという感想でした。年齢が自分たちの両親以上の議員・職員が多い中、25才の青年が1人だけ議場にいる姿はなんとも不思議でした。しかし、ののべ尚昭議員は堂々としており、他の議員にもひけをとらないぐらい立派でした。

30名の議員の中で1人だけズバぬけて若い議員ですが、若者の代表として負けないようにエールを送ります。頑張れののべ、負けるな尚昭。

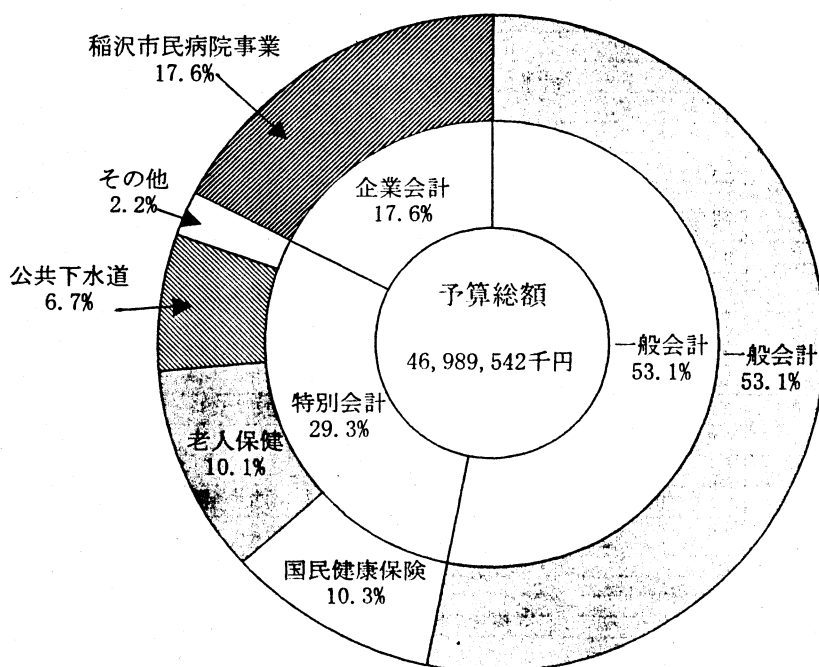
滝 知孝

予算

— 平成8年度当初予算が決定されました —

総額 **469億 8,954万 2千円**

- 一般会計 **249億5,500万円**
- 特別会計 **137億8,508万4千円**
- 企業会計 **82億4,945万8千円**



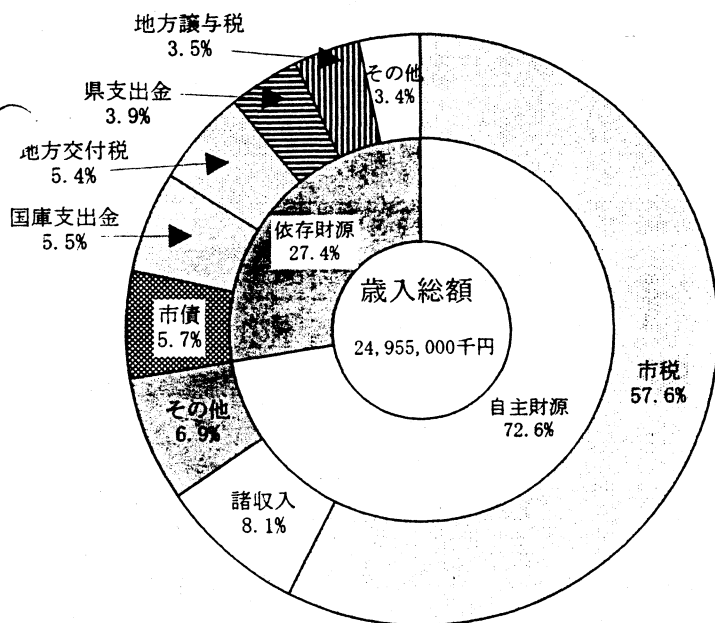
平成8年度当初予算は、山積みする懸案諸事業について引き続き全力を傾注し、都市基盤を中心とする社会資本並びに生活環境の整備と充実を考えたものです。さらに、高齢社会を見据える中で住民福祉の一層の充実を図り、9万8千市民の負託に応えるため限られた財源の重点的、効率的な配分に努めました。

● 会計別当初予算の前年度比較

会計名		本年度予算額	前年度予算額	前年度比(%)
一般会計		249億 5,500万円	245億 6,700万円	101.6
特別会計		137億 8,508万 4千円	136億 6,277万 3千円	100.9
内 訳	国民健康保険	48億 3,845万 8千円	47億 1,296万 6千円	102.7
	稲沢土地区画整理事業	6,120万 4千円	6,211万 2千円	98.5
	市民交通災害共済事業	1,602万 3千円	1,834万 2千円	87.4
	老人保健	47億 6,189万 8千円	46億 4,182万 1千円	102.6
	公共下水道事業	31億 4,374万 6千円	34億 9,927万 4千円	89.8
	稲沢西土地区画整理事業	6億 3,760万 2千円	2億 4,598万 8千円	259.2
	農業集落排水事業	3億 2,615万 3千円	4億 8,227万円	67.6
企業合計(稲沢市民病院事業)		82億 4,945万 8千円	81億 1,798万 9千円	101.6
合計		469億 8,954万 2千円	463億 4,776万 2千円	101.4

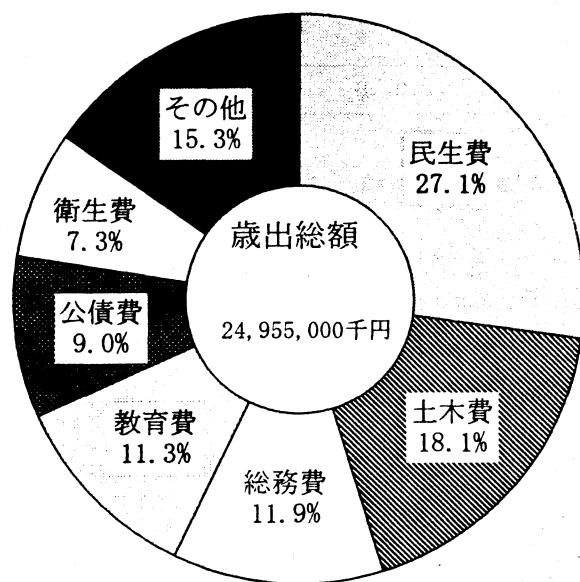
一般会計 歳入

歳入の内訳で一番多いのは市税の57.6%で143億6,940万6千円です。前年度比は104.5(%)となっています。市税は市民税(個人・法人)・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・特別土地保有税・都市計画税の6つの税で構成されています。



一般会計 歳出

民生費が67億6,197万5千円で全体の27.1%を占めています。続いて、土木費の45億774万5千円で18.1%、総務費の29億7,657万9千円で11.9%の順となっています。前年度比としましては、土木費が107.9%、総務費が106.5%で伸びていますが、教育費は97.9%と減少しています。なお、内訳は下記の市長の施政方針を基本として計上されています。



市長の施政方針

1. 都市基盤整備の推進 (←土木費)

- 稲沢駅周辺開発事業
- 幹線道路の整備
- 下水道の整備
- 土地区画整理事業の推進

2. 福祉の充実 (←民生費)

- 住宅介護支援センターの増設
- 精神障害者の通院治療医療費の無料化

重点6施策

3. 衛生環境の整備充実 (←衛生費)

- 分別収集の全地域実施
- ゴミ焼却施設の全面改修準備

4. 教育の推進と市民文化の高揚 (←教育費)

- 荻須記念美術館のアトリエ復元施設オープン
- 小学校プールの改築工事

5. 防災対策の充実 (←総務費)

6. 効果的な行財政運営の推進 (←総務費)

